



## かかわり合いを大切に

校長 村元 孝憲

緑まぶしい木々の間を、爽やかな風が吹き通る季節となりました。先日の「学校説明会」、及び「学級懇談会」には多くの保護者の方々にご出席いただき、心より感謝申し上げます。説明会では、校長として学校経営方針を直接お伝えすることができ、懇談会では、学級担任より保護者の皆様と直接顔を合わせてお話させていただくことで、今年度の行事内容や学年目標について確認できたのではないかと思います。

本校では令和8年度～9年度、文部科学省指定「教育課程柔軟化サキドリ事業」としての教育課程を編成しております。新年度が始まって約1か月、調整授業時数制度を用いた1単位時間40分、給食前の5時間日課にも少しずつ慣れる様子が見られてきました。また、午後の20分間を短時間学習として用いる「高海スタディ（自主学习及び裁量の時間）」、「高海タイム（かかわり合い活動）」による学校教育目標の具現化を目指しているところです。

さて、「集団づくり」や「仲間づくり」が大切なこの時期、学級や学年を超えた異学年集団による活動の基盤となる「フレンド活動」が今月下旬より始まります。ねらいとして「互いに認め合うことができる好ましい人間関係を育む」ことを通して、かかわり合う子を具現化したいと考えます。

フレンド活動において6年生にはリーダーとしてグループをまとめる力、引っ張っていく力が必要とされます。いわゆる「リーダーシップ」です。一方で下の学年の子どももがんばらなくてはなりません。班のめあてを意識し、ねらいに迫るためにリーダーの話をよく聞くこと、約束を守ったりマナーを身に付けたりしながら協力することが求められます。そう考えたとき、集団での活動は、リーダーとして頑張る子どもを支えていく力となる「フォロワーシップ」が必要でもあるわけです。フレンド活動やペア活動を実施する際には、上学年、下学年を問わず、リーダーとしての立場や役割を担う子どもが中心となり、フォロワーとしてのメンバーの協力が集団の活動を支え、高浜海浜小学校の学校生活を創り上げていくことにつながります。

「人は出会いによって知人となり、付き合いによって友人となる。そして、助け合いによって仲間となる」という言葉があります。フレンド活動という学年を超えたかかわり合いを通して、知人から友人へ、そして固い絆の仲間へと育てていってほしいと思います。

また、来週5月16日（土）には「第15回運動会」が行われます。水分補給をしっかりとこない、熱中症に気を付けながら練習を進めてまいります。思い出に残る運動会になるように、それぞれの立場や役割の下、子どもたち自らが発揮できる「リーダーシップ」や「フォロワーシップ」を意識し、少しずつ成長していく姿が見られるよう、教育活動の充実に努めてまいります。